

# 通級だより

静岡聴覚特別支援学校

通級指導教室

2022年10月 NO. 6



## 通級生の集いを実施しました

10月1日(土)に通級生の集いを行い、8人の通級生が参加しました。普段は顔を合わすことがない通級生同士、集まると少し照れくさそうな、緊張した表情の中、活動がスタートしました。

交流活動では、静岡聴覚特別支援学校の授業に1時間入り、一緒に学習をしました。聞こえに配慮された環境を体験しました。普段は少人数で授業を行っている本校生も緊張している様子でしたが、意見を交わしたり授業を受けたりしていく中で打ち解け、課題解決に向かっていました。お互いにより刺激になったのではと思います。

交流後、通級生全体で集まり、交流活動の振り返りや、自分の学校生活についての振り返り活動を行いました。お互いの意見にうなずいて同意を表したり、「それいいね。」「すごいね。」と反応をしたりと、仲間を認め合うことができました。



聴覚特別支援学校の授業で、分かりやすかったところ、聞きやすかったところは？

- 先生がはっきりと話していた。
- 先生が図を指しながら説明していた。
- 騒がしくない。
- テレビの音声を先生が復唱してくれた。

自分の学校やクラス、先生のいいところは？

- ロジャーを発表で回してくれる。
- 先生が面白い。
- 明るい挨拶がいっぱい
- 聞こえのことをわかってくれる友達がいる。

自分の学校がもっとこうだったらいいなと思うことは？

- 給食が豪華だったらいいな。
- もっと、友達にロジャーや補聴器を知ってほしい。
- 体育館を声の響かない造りにしてほしい。
- 学校でゲームができたらいいのに！
- 友達が大きな声で話してくれたらいいのに。



## ～第2回在籍校訪問～

在籍校訪問の日程調整に御協力いただき、ありがとうございます。難聴理解授業を実施する児童も多いので、友達にも聞こえについてより理解を深めてもらう機会にしていきたいと思います。

# 通級生の集い 保護者懇談会



保護者懇談会は、8名の方に御参加いただきました。主な内容を紹介します。

(1) 通級指導の学習内容 「①言語指導」「②障害認識」「③適応指導」「④聴能指導」「⑤教科の補充」の中で、「お子さんに当てはまる課題はどれか？」という質問に挙手していただきました。

## <教科の補充>

- ・文章問題では、問題文の質問に合わない回答を書く。(奇妙な間違え方をする) 2人
- ・算数の計算はできるが、量的な概念が著しく乏しい。2人
- ・文章が書けない。2人
- ・聞き取りテストでは、ほとんど点数を取れず、本人が最初から諦めている。1人

## <適応指導>

- ・友達との関わり方が幼い。1人

## <聴能指導>

- ・集会などで指示があると、理解していないことがある。5人
- ・正しく聞き取れていないことがある。(聞こえを補うことをしない) 3人

## <障害認識>

- ・聞き逃している情報はないと思っている。7人
- ・聞こえにくさから学校活動に参加できていないが、本人は何も困っていない。1人
- ・聞こえにくさがあることを駄目なことだと思っている。1人

## <言語指導>

- ・会話の中で応答関係が成立しない。(聞かれていることとずれていることを答える) 5人
- ・サ行の発音がタ行になることがある等、発音が一部不明瞭。4人
- ・学年相応の言葉の意味を知らないため、文章理解が難しい。2人
- ・語彙が少ない。2人
- ・まとまりのある文章が書けない。(読み手を意識した文章が書けない) 1人

(2) 保護者同士で、情報交換をしました。先輩保護者からアドバイスをいただいたり、悩みを共有したりできるよい機会となりました。

## 情報交換で挙げられたテーマ

- ・小学校と聴覚特別支援学校の違いは？
- ・ロジャーを使い始めたばかり。活用法、活用例を知りたい。
- ・補聴器の装用が遅いので、体験談を聞きたい。
- ・学習の難しさや遅れに家庭でどうフォローするか。
- ・高学年になって、聞こえに対する意識の変化にどう対応するか。
- ・相手の話が聞き取れず、わからないときの聞き返しはどのようにしていますか？

こんなお話をしてくださいました。

親しい友達と先生等の相手や、授業中、休み時間などの場面によって、「できる」「できない」がある。(保護者1)

経験を重ねて、聞き返さなければいけないとき、聞き返さなくても支障がないときなど使い分けを学んでいく面もある。(保護者2)

# 10月のスキルちゃん

発音・発語のポイント 通鼻音（マ行、ナ行）

鼻に手を当てると、びりびりと少し振動するのが通鼻音です。両唇を閉じたm音からゆっくり唇を開きながら母音を言うとマ行。前舌を歯茎につけてn音からゆっくり舌を離しながら母音を続けて言うとナ行になります。

## 言葉の二面性を意識しながら、授業（会話）を進めていますか？

言葉を正しく理解するための条件

### ①音声を正しく認識している。

口声模倣を促して確認しよう。

→教師「今、先生は何と言いましたか？」

### ②意味内容まで理解して、認識している。

理解して聞き取れているか確認しよう。

→教師「それは、例えばどんなこと？」

「それは、どこにあるの？」



授業中、発問に対して、子どもから想定外の答えが返ってくる…それは、言葉の意味を間違えて受け取っているかもしれません。

